

TAKEHISA YUMEJI

夢

「絵で詩をかいてみた」

文 學

竹久夢二の抒情画・著作・装幀

竹久夢二美術館

開館時間

午前10時半～午後4時半（最終入館午後4時まで）

※新型コロナウィルスの影響により、開館時間が変更になる場合があります。

休館日 月曜日・火曜日
（ただし7月19日（月・祝）・9月20日（月・祝）開館）
※新型コロナウィルスの影響により、休館日が変更になる場合があります。

一般1000円／大・高生900円／中・小学生500円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

※入館にはオンラインによる事前予約（日時指定）が必要です。



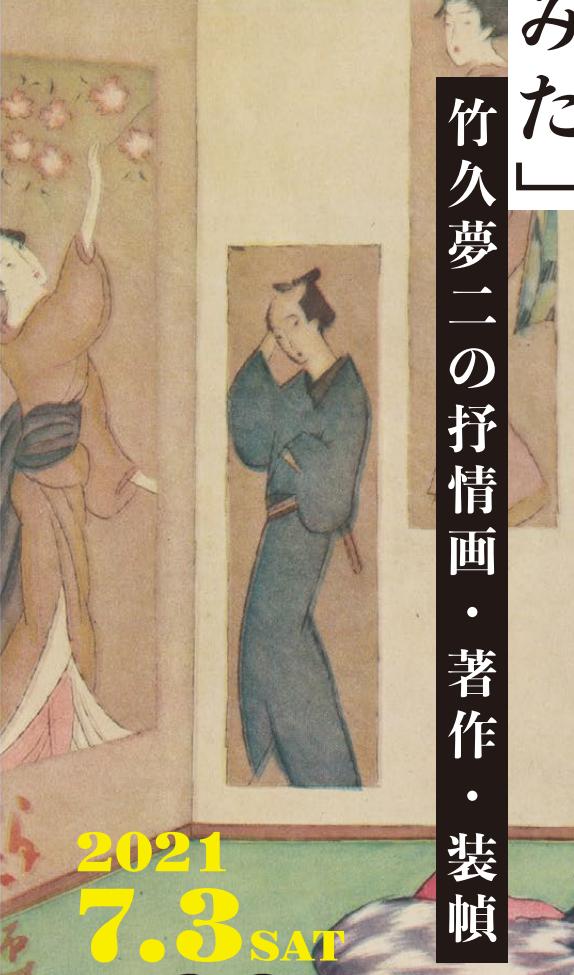
「鴨川情話」大正6年(1917)



セノオ楽譜「宵待草」大正7年(1918)



「山へよする」大正8年(1919)



2021
7.3 SAT
～
9.26 SUN

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

竹久夢二「夢よ浅かれ」大正15年(1926)

大 正ロマンの画家として知られる竹久夢二（1884～1934）。実は詩人や文筆家としての顔も持ち、300冊以上の本の装幀も手掛けたデザイナーでもあったことはご存じですか？
夢二ははじめ詩人になりたいと思い、「繪の形式で詩を書いてみた」とから画家として歩みはじめます。夢二の絵に漂う詩情は、彼の作品の大きな魅力の一つです。また、「宵待草」に代表される詩や物語も創作し、57冊の著作本も刊行しています。さらに、他の作家の著作のブックデザインも数多く手掛けました。

本展では抒情溢れる夢二の絵や、詩や文章、装幀本などを展示し、夢二作品の文学性や、文学との関わりをご紹介いたします。